



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント開催概要・レースレポート

## ■開催概要

- 大会名称 : 2023 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット／東コース (2.243km)
- 開催日・天候 : 3月11日(土)・晴れ
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp/>
- 開催クラス : ★総参加台数／103台
  - ROAD STAR II ..... 13台
  - ROAD STAR EXPERT II ..... 6台
  - FUN & RUN Mix Small／EXPERT ..... 13台
  - ROAD STAR WARS II ..... 10台
  - NEO STANDARD<CBR250R> ..... 7台
  - NEO STANDARD<VTR250> ..... 7台
  - NEO STANDARD<G310R> ..... 16台
  - NEO STANDARD<Ninja250R> ..... 14台
  - NEO STANDARD<YZF-R25> ..... 17台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。  
[https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPで  
ご購入いただけます。  
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

## ■次回開催予定

- 大会名称 : 2023 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット／東コース (2.243km)
- 開催日 : 2023年6月17日(土)
- 開催クラス : NEO STANDARD (CBR250R／VTR250／G310R／Ninja250R／YZF-R25)、FUN & RUN Mix Big／EXPERT  
FUN & RUN Mix Small／EXPERT、ROAD STAR WARS I、ROAD STAR I、ROAD STAR EXPERT I





# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## 開催クラス紹介

### 【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダVTR250、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの5車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

#### ●参加車両例

カワサキNinja250R    ホンダVTR250    ホンダCBR250R    ヤマハYZF-R25    BMW G310R

### 【ROAD STAR WARS I/II】

一般公道走行が認められている、いわゆる「ナンバー付」車両による、レース形式競技がこのROAD STAR WARSです。「I」と「II」は車両の大きさの違いであり、2ストローク251cc/4ストローク401cc以上の車両がROAD STAR WARS I、2ストローク86cc~250cc/4ストローク100cc~750ccまでの車両がROAD STAR WARS IIとなります。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ヤマハYZF-R6    ヤマハFZR400    スズキRGV250y    カワサキZZR1100    等

### 【ROAD STAR I/II】

ROAD STAR WARS同様、一般公道走行が認められるナンバー付車両による競技です。ROAD STAR WARSとは違い、こちらは全て「タイムアタック形式」の競技となります。また、ライダーのスキルにより、入門者にはCHALLENGERクラスから、上級者にはEXPERTクラスまで幅広く参加できるクラスとなっています。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ヤマハYZF-R1    トライアンフデイトナ675    ビューエルXB9S    スズキTL1000S

### 【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と 2ストローク250ccの公道用一般車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリーが分かれています。

●参加車両例    ホンダNSR250SE    ヤマハTZR250RS    ヤマハSRX600    スズキSV400S  
ホンダCBR400RR    カワサキZXR400R





# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント全体概要報告

## 例年通り、“ファンラン”を皮切りに 2023年の二輪モータースポーツシーズンが開幕!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトに1999年に始まった参加型レースイベントの「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」。その2023年シーズン開幕戦が開催された。

“ファンラン”の魅力は小排気量から大排気量まで、シングル、ツイン、マルチなど、様々なバイクが集まり、一日のうちでたくさんのレースやタイムアタックが見られることだ。中でもナンバー付きのバイクで気軽に参戦できるタイムアタック競技「ROAD STAR」やそれらのバイクによるレース競技「ROAD STAR WARS」は“ファンラン”の原点として特に人気を集めている。今シーズンはこの開幕戦で小排気量マシンによる「ROAD STAR II/ROAD STAR EXPERT II/ROAD STAR WARS II」、第2戦で大排気量マシンによる「ROAD STAR I/ROAD STAR EXPERT I/ROAD STAR WARS I」が行われ、第3戦では「ROAD STAR」 「ROAD STAR WARS」全てのタイムアタックとレースが開催される。

これらのカテゴリーには発売されたばかりのバイクをいち早く投入するエントラントがいたり、そうかと思えばずっと大切にしている愛車で長年参戦し続けているエントラントも。マシンに注目して観戦する楽しみがもっとも大きいカテゴリーのひとつとも言える「ROAD STAR WARS II」の公式予選ではアプリリアRS660を投入し、7年ぶりに“ファンラン”に参戦した薮谷文彦がトップタイムをマークして注目を集めた。

昨今の“ファンラン”では「NEO STANDARD」も人気博している。このカテゴリーは参戦マシンが比較的リーズナブルな価格帯で販売されており、参戦しやすいことに加え、スプリントレースでありながらレース途中でのライダー交代またはピットインが義務付けられており、セミ耐久のような楽しみ方ができるのも魅力だ。

昨シーズンから各クラスに女性ライダーを対象とした「Women'sクラス」が新設され、さらに魅力が増したこの「NEO STANDARD」には合計61台が参加。今回も仲間とチームを組んだり高橋千帆さん/徹さんのように夫婦で楽しむライダーがいた。また、<CBR250R/VTR250/G310R>と<Ninja250R/YZF-R25>の両クラスのレースにダブルエントリーするライダーもいた。

今シーズンの“ファンラン”は、今回、6月17日(土)、9月2日(土)、11月11日(土)の年間全4戦が開催される。年に1回のフルコース大会として行われる最終戦はもちろん、「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」と「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」の両方が開催される次回第2戦も楽しみにしていきたい。



ROAD STAR WARS II 決勝スタート直前



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-1【タイムアタック/レース形式競技】

### ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II

ヤマハYZF-R7やアプリリアRS660といった「C4」マシンの参戦が増えたこのタイムアタックカテゴリー。フリー走行でトップタイムをマークした加藤久幸がコースイン2周目に58秒452を記録。それに大内田伝の59秒854が続く。小松孝章が59秒597をマークして大内田を上回ること成功。加藤、小松、大内田の上位3台がピットに。1分00秒989の森田功、1分02秒363の川島隆昌、1分02秒966の松尾善行が4番手、5番手、6番手で続く。松尾が1分01秒632をマークして5番手に。森田がピットに入る。小松が59秒549を記録して自己ベストを更新。加藤もセクターベストをマークするが、自己ベストの更新はならず。結局、加藤の58秒452が総合トップタイムとなった。



ROAD STAR II総合表彰式 (優勝: 森田功、2位: 松尾善行、3位: 川島隆昌)

ROAD STAR IIカテゴリー別表彰式 (C4優勝: 森田功、C6優勝: 川島隆昌、C7優勝: 大山竜司)



ROAD STAR EXPERT II総合表彰式 (優勝: 加藤久幸、2位: 小松孝章、3位: 大内田伝)

ROAD STAR EXPERT IIカテゴリー別表彰式 (C4優勝: 小松孝章、C5優勝: 加藤久幸、C6優勝: 大内田伝)

### ROAD STAR WARS II

“ファンラン”に参戦するのは7年ぶりという藪谷文彦がポールポジションを獲得。2番グリッドスタートの水本茂樹がクラッチミートで藪谷の前に出るが、ホールショットを奪ったのは藪谷だった。藪谷、水本、竹廣草生のオーダーでオープニングラップを終了。藪谷、水本は単独トップ、単独2番手に。丹後明義が竹廣をパス。竹廣は島谷幸治の先行も許す。島谷は丹後をパスして3番手に。藪谷、水本、島谷、丹後がトップグループを形成する。スタートで出遅れた3番グリッドスタートの松浦光利が丹後の背後に接近。トップグループは藪谷、水本、松浦、島谷、丹後の5台での争いとなる。ファイナルラップで藪谷をパスした水本がウィナーとなった。



ROAD STAR WARS II総合表彰式 (優勝: 水本茂樹、2位: 藪谷文彦、3位: 丹後明義)

ROAD STAR WARS IIカテゴリー別表彰式 (C4優勝: 水本茂樹、C5優勝: 丹後明義、C6優勝: 松浦光利)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-2【レース形式競技】

### FUN & RUN Mix Small / EXPERT

2番グリッドスタートの宮島伸也はウォームアップラップでマシントラブルが発生し、出走できず。公式予選でコースレコードを更新してポールポジションを獲得した岸田尊陽が絶妙なクラッチミートを披露してホールショットを奪う。その岸田、3番グリッドスタートの大竹洋司、5番グリッドスタートの愛甲正吾のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。岸田は大竹以降を引き離しにかけ、単独トップに。大竹も単独2番手となる。ファステストラップを更新する岸田の後方で大竹も危なげない走りを披露。清水省作が4番手を走る。最後まで安定した走りを披露した岸田が大竹以降に5秒784ものアドバンテージを築いてトップチェッカーを受けた。

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



FUN & RUN Mix Small総合表彰式 (優勝:愛甲正吾、2位:畔柳章、3位:丹後明義)

FUN & RUN Mix Smallカテゴリー別表彰式 (Small I優勝:愛甲正吾、Small II優勝:前田義生)



FUN & RUN Mix Small EXPERT総合表彰式 (優勝:岸田尊陽、2位:大竹洋司、3位:清水省作)

FUN & RUN Mix Small EXPERTカテゴリー別表彰式 (Small I EXPERT優勝:岸田尊陽)



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-3【レース形式競技】

## NEO STANDARD<Ninja250R/YZF-R25>

昨年のNinja250Rチャンピオン山本晃久がポールポジションを獲得。昨年のYZF-R25クラスランキング2位である中村和悦がその横、2番グリッドからスタートする。

山本が少しウィリーしながら加速していくが、ホールショットを奪ったのは3番グリッドスタートの山下浩司/入江高伸の入江。その入江、4番グリッドスタートの杉島潤のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。山本はオープニングラップ終了時点でピットへ。中村と昨年のYZF-R25クラスチャンピオン鳥居典生も早くもピットに入る、入江、杉島、平山美奈/福山京太組の福山、西良英之がトップグループを形成。トップ4台の中では福山が10周目終了時点でピットへ。入江と杉島が12周目終了時点でピットに入る。

上位陣のほとんどがピット作業を終えた後、鳥居が2番手に。西良が20周目終了時点でピットに入ると鳥居は単独トップに躍り出る。鳥居がそのままトップチェッカー。Ninja250Rクラスのウィナーは総合3位の増田啓太だった。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<Ninja250R> (優勝:増田啓太、2位:山本晃久、3位:細川和彦/本田知英)



NEO STANDARD<YZF-R25> (優勝:鳥居典生、2位:中村和悦、3位:杉島潤)



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. MARCH in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-4【レース形式競技】

### NEO STANDARD

#### <CBR250R/VTR250/G310R>

公式予選で昨年のG310Rクラスチャンピオン佐々木龍人が自身の持つコースレコードを更新。ポールポジションからスタートしたその佐々木の横から2番グリッドスタートの小牧寛由が伸びていく。小牧、佐々木、3番グリッドスタートの栗田学のオーダーでオープニングラップを終了。佐々木が2周目の1コーナー進入で小牧をパスしてトップに。栗田も佐々木と小牧の間に割って入る。その3台がトップグループを形成。ファステストラップを更新しながら周回ごとに4番手以降を引き離す好走を披露する。

トップグループの中では小牧が17周目終了時点でピットイン。続く18周目終了時点で佐々木と栗田もピットに入る。コースに復帰後も佐々木、栗田、小牧のオーダーは変わらない。結局、佐々木が5秒612のアドバンテージを築いてトップチェッカー。ファイナルラップで栗田をパスした小牧が総合2位に。栗田が総合3位だった。CBR250Rクラスのウィナーは総合5位の奥田勇人／竹田透。総合10位の上平真がVTR250クラスを制した。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<CBR250R> (優勝:奥田勇人／竹田透、2位:金田博行、3位:鈴木克正／福山京太)



NEO STANDARD<VTR250> (優勝:上平真、2位:樋口圭祐、3位:高橋潤)



NEO STANDARD<G310R> (優勝:佐々木龍人、2位:小牧寛由、3位:栗田学)